



## 平成30年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年4月27日

上場会社名 日本和装ホールディングス株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 2499 URL <http://www.wasou.com/profile/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 吉田重久  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 菅野泰弘 TEL 03-3216-0070  
 四半期報告書提出予定日 平成30年5月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無  
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成30年12月期第1四半期の連結業績（平成30年1月1日～平成30年3月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年12月期第1四半期	1,258	29.6	62	—	49	—	28	—
29年12月期第1四半期	971	8.2	△101	—	△117	—	△116	—

(注) 包括利益 30年12月期第1四半期 24百万円 (—%) 29年12月期第1四半期 △110百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年12月期第1四半期	3.20	—
29年12月期第1四半期	△12.91	—

(注) 平成29年12月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在するものの1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。また、平成30年12月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年12月期第1四半期	7,549	2,601	34.4
29年12月期	7,645	2,603	33.9

(参考) 自己資本 30年12月期第1四半期 2,594百万円 29年12月期 2,592百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年12月期	—	4.00	—	7.00	11.00
30年12月期	—	—	—	—	—
30年12月期(予想)	—	4.00	—	8.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 平成30年12月期の連結業績予想（平成30年1月1日～平成30年12月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,650	2.7	260	1.3	230	1.4	140	10.2	15.33
通期	5,300	1.0	520	4.3	460	3.6	290	3.2	31.75

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年12月期1Q	9,134,000株	29年12月期	9,002,000株
② 期末自己株式数	30年12月期1Q	0株	29年12月期	0株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年12月期1Q	9,045,000株	29年12月期1Q	9,002,000株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点での入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する概況 .....	2
(1) 連結経営成績に関する説明 .....	2
(2) 連結財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	4
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	4
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
(セグメント情報等) .....	6

## 1. 当四半期決算に関する概況

### (1) 連結経営成績に関する説明

当第1四半期の連結経営成績につきましては、売上高1,258百万円（前年同四半期比29.6%増）、営業利益62百万円（前年同四半期は営業損失101百万円）、経常利益49百万円（前年同四半期は経常損失117百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益28百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失116百万円）となり、前年同四半期に比べ、大幅な増収増益となりました。

当社グループのビジネスモデルは、春と秋の年2回、着付け教室を開講し、それぞれ、着付けの技術や和装の知識を伝えたくて開催する販売会によって収益が発生する仕組みです。そのため、春の教室では、第1四半期に受講者を募集・開講し、第2四半期に販売会が集中することから、第1四半期は支出先行による四半期損失になり、第2四半期に黒字化するという特性を持っておりました。

創業以来、続けてきたこのビジネスモデルを、昨年度より、若手従業員・取締役が中心となってブラッシュアップを図り、カリキュラムを全15回から6回に短縮する等、お客様のニーズを反映した通いやすい教室の提案に加え、当期は、卒業生（既存顧客）へのアプローチをより強化する計画のもと、経常的な利益確保に向けた体質作りを進めております。当第1四半期においては、この取り組みが軌道に乗ったこと、また計画以上にリピーターのお客様が増えたことで、初めての四半期利益を計上することができました。

卒業生向けに毎年8月に開催している、きもの着姿コンテスト「きものブリリアンツ全国大会」について、出場カテゴリーをリニューアルする等の進化を図ったことで、全国17地区で開催した予選となる地区大会が盛況を博し、付随する販売会が好調に推移しました。

連結子会社においては、当社の販売会の増加に伴い、株式会社はかた匠工芸（博多織の製造販売）の売上高が向上しました。また、ニチクレ株式会社（当社顧客向けショッピングクレジット事業）では、当社の販売会の増加に加え、昨年度より取り組んでいる自社クレジットの利用促進により取扱い件数が増加、連結売上高の向上に寄与しました。

販売費及び一般管理費については、当社の創業35周年を記念し、当第1四半期において、当社グループ全従業員及び着付け講師に対し、感謝の意として祝い金を支給したことや、販売会の増加に伴う支払講師料や販売促進費の増加等により、前年同四半期比で増加しました。しかし、大幅な増収や、自社クレジットの利用促進による他信販会社への支払手数料の減少等が奏功し、連結業績の営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益のすべてにおいて利益計上することができました。

なお、当社グループは、和服及び和装品の販売仲介を中心とした、きもの関連事業の単一セグメントのため、セグメント情報に関連付けた記載を省略しております。

### (2) 連結財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して95百万円減少して、7,549百万円となりました。負債につきましては、前連結会計年度末と比較して92百万円減少して、4,948百万円となりました。純資産につきましては、当社グループの役員員に対してストックオプションとして発行していた新株予約権の行使により、資本金及び資本剰余金がそれぞれ18百万円増加したことに加え、当第1四半期連結累計期間の親会社株主に帰属する四半期純利益28百万円を計上する一方で、配当金63百万円を支払った等により、前連結会計年度末と比較して2百万円減少して、2,601百万円となりました。

### (3) 連結業績予想に関する説明

平成30年2月13日に発表いたしました連結業績予想からの修正はおこなっておりません。

#### 日本和装のいま、これから

当社グループは当期、創業35年を迎えました。いま、現場では若手のリーダーたちが台頭し始めております。約30年前に完成した「教えて、伝えて、流通を促す」というビジネスモデルを見つめ直し、どうすればもっとお客様に喜んでいただけるか、どうすれば取引先との共存共栄につながるか。自ら考え、皆で協力し、ブラッシュアップした仕組みとして運用することで、今般の業績向上に繋がっているものと確信しております。

さらに当社グループでは「L50※=カッコいい50歳代の女性を応援する」という政策を提言しております。人生経験豊かで、気配りや目配りに長けているL50世代の女性の力をもっと活用したいという思いから、積極採用や管理職登用を進めております。

今後は経営基盤をさらに強固なものにするため、市場のサイズに合わせて営業拠点の人員・施設等の戦略的な見直しを図るとともに、営業エリアの細分化を進め、お客様本位のよりきめ細かなサービスを提供できる体制づくりを進める計画です。また、グループの力を向上させるため、社員・講師にとってより働きがいのある会社となるよう、人材育成にも力を入れてまいります。長期的には、優良顧客を多く有する当社グループの強みを生かし、和装品の仲介以外にも会員ビジネスを広げることで事業の拡大を目指してまいります。

「百年先のために、今、変革を。」日本和装はさらなる成長のためにこれからも力を尽くしてまいります。

※L50(エルゴジュウ)…LはレディのL。50歳代を中心とした40歳代～60歳代の女性を指しております。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,011,488	1,610,905
営業未収入金	167,404	234,977
割賦売掛金	4,122,518	4,186,818
たな卸資産	163,839	143,306
その他	534,223	741,760
貸倒引当金	△49,686	△54,795
流動資産合計	6,949,788	6,862,973
固定資産		
有形固定資産	294,297	286,105
無形固定資産	80,341	72,876
投資その他の資産	320,653	327,967
固定資産合計	695,292	686,949
資産合計	7,645,081	7,549,922
<b>負債の部</b>		
流動負債		
営業未払金	31,676	23,755
短期借入金	2,259,380	2,239,460
未払法人税等	92,936	38,997
前受金	358,622	381,654
営業預り金	42,657	55,880
その他	399,162	370,074
流動負債合計	3,184,437	3,109,822
固定負債		
長期借入金	1,820,886	1,809,744
その他	36,033	29,261
固定負債合計	1,856,919	1,839,006
負債合計	5,041,356	4,948,828
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	459,634	478,198
資本剰余金	336,487	355,052
利益剰余金	1,805,787	1,771,711
株主資本合計	2,601,909	2,604,962
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△9,660	△10,105
その他の包括利益累計額合計	△9,660	△10,105
新株予約権	9,361	6,237
非支配株主持分	2,113	-
純資産合計	2,603,724	2,601,094
負債純資産合計	7,645,081	7,549,922

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年3月31日)
売上高	971,345	1,258,579
売上原価	123,216	158,061
売上総利益	848,129	1,100,517
販売費及び一般管理費	949,480	1,037,768
営業利益又は営業損失(△)	△101,350	62,748
営業外収益		
受取利息	12	13
その他	2,606	847
営業外収益合計	2,618	860
営業外費用		
支払利息	8,198	8,872
支払手数料	10,087	3,733
その他	748	1,558
営業外費用合計	19,034	14,164
経常利益又は経常損失(△)	△117,766	49,444
特別利益		
固定資産売却益	—	925
新株予約権戻入益	—	1,447
特別利益合計	—	2,373
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△117,766	51,818
法人税、住民税及び事業税	4,711	29,824
法人税等調整額	△15,493	△2,521
法人税等合計	△10,781	27,303
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△106,984	24,514
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	9,253	△4,423
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△116,238	28,938

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年3月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△106,984	24,514
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△3,055	△445
その他の包括利益合計	△3,055	△445
四半期包括利益	△110,040	24,069
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△114,701	28,493
非支配株主に係る四半期包括利益	4,660	△4,423

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは、和服及び和装品の販売仲介を中心とした、きもの関連事業の単一セグメントであるため記載を省略しております。